

議会報 ならは

令和7年

第210号

12月5日発行



蒼空に舞う（令和7年11月15日）

- 議員紹介……………1～3ページ
- 令和7年9月定例会……………4～5ページ
- 町政を問う！【いっぱん質問】……………6～8ページ

議長 青木 基



相互扶助

行政区 大谷
在職歴 5期
年 齢 74歳

平素より町民の皆さまには、町政ならびに町議会に対し、格別のご理解とご支援を賜り、御礼を申し上げます。

この度、改選後初となる9月臨時会において榎葉町議会議長に就任いたしました。

本年は国の定める、第二期復興創生期間終了の年にあたりますが、まだまだ帰町された町民の皆さまの「心の復興」や「真の豊かさ」には町政が追い付いていないことも実感しております。今後も課題解決のため町と足並みを揃えながら、議会独自の提案により、更に元気な町を目指していくために、町議会が一丸となって歩んでいく所存です。

今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。

副議長 草野公雄



公明正大

行政区 下井出
在職歴 5期
年 齢 77歳

9月に行われた臨時会において、副議長に就任いたしました。

今後は、副議長の職務を遂行し、今後益々議論を尽くさなければならぬ諸所の課題に対し、円滑な議論が尽くせるよう、議長の補佐役として尽力して参ります。

町民の皆さまの声が少しでも町政に伝わる様に、これまで以上の働きをして参りますが、至らない点もあるかと思えます。一層のご指導、ご鞭撻をよろしく願っています。





大和田 仁

夷險一節

行政区 山田浜
在職歴 1期
年 齢 65歳



草野 朋典

積土成山

行政区 下井出
在職歴 1期
年 齢 60歳



松本 路人

和敬挑進

行政区 松館
在職歴 1期
年 齢 38歳

送古迎新

議会議員選挙が行われ、檜葉町議会が新たな顔ぶれとなりました。
自己紹介の意味も込めて、自身を表す漢字四字を直筆で書きました。
これから4年間、どうぞよろしくお願いします。

議員定数 10人

任期 令和7年9月1日から令和11年8月31日まで（4年間）



坂本 洋

心機一転

行政区 大谷
在職歴 3期
年 齢 60歳



佐藤 努

温故知新

行政区 下小埜
在職歴 2期
年 齢 47歳



松本 明平

四面楚歌

行政区 北田
在職歴 2期
年 齢 44歳



宇佐見 雅夫

見識・気迫

行政区 下繁岡
在職歴 4期
年 齢 70歳



岩間 尊弥

以和為貴

行政区 下小埜
在職歴 3期
年 齢 57歳

議会構成

令和7年10月末日現在



双葉地方広域市町村圏 組合議会議員

総務	青木 基
消防・厚生	大和田仁
保健・衛生	佐藤 努

双葉地方水道企業団 議会議員

議員	坂本 洋
議員	松本路人

議員選出監査委員

草野朋典

総務環境常任委員会

委員長	岩間尊弥
副委員長	松本路人
委員	草野朋典
	大和田仁
	青木 基

原子力発電所 安全対策常任委員会

委員長	宇佐見雅夫
副委員長	松本明平
委員	松本路人
	草野朋典
	大和田仁
	佐藤 努

議長 青木 基

副議長 草野公雄

議会運営委員会

委員長	佐藤 努
副委員長	大和田仁
委員	坂本 洋
	岩間尊弥
	草野公雄

経済福祉常任委員会

委員長	坂本 洋
副委員長	宇佐見雅夫
委員	松本明平
	佐藤 努
	草野公雄

令和7年9月定例会

令和6年度各会計決算が確定

令和7年第6回9月定例会は、9月16日から18日までの3日間の会期で行われました。本定例会では、令和6年度の決算認定が行われ、6件の会計全ての決算が認定されました。

また、その他には、報告事項2件、条例の制定1件、条例の改正4件、令和7年度各会計の補正予算6件など計22議案が審議され、全て可決・承認されました。

令和7年度補正予算

一般会計（第2号）

- 補正額 42億8,900万円増額
- 予算総額 136億8,300万円

◆可決【賛成多数（賛成8／反対1（松本明平議員））】

国民健康保険特別会計（第1号）

- 補正額 1億4,108万9千円増額
- 予算総額 12億5,472万3千円

◆可決【賛成全員】

住宅用地造成事業特別会計（第1号）

- 補正額 1,513万9千円増額
- 予算総額 1,651万7千円

◆可決【賛成全員】

介護保険特別会計補正予算（第1号）

- 補正額 1億2,126万4千円増額
- 予算総額 10億6万6千円

◆可決【賛成全員】

後期高齢者医療特別会計（第1号）

- 補正額 287万9千円増額
- 予算総額 1億1,228万3千円

◆可決【賛成全員】

9月定例会

令和6年度一般会計歳入歳出決算

一般会計

- 歳入総額 124億6,552万2,576円
- 歳出総額 118億1,816万 239円
- 歳入歳出差引額 6億4,736万2,337円

- 翌年度へ繰越すべき財源 2億8,368万1,700円
- 実質収支額 3億6,368万 637円

◆認定【賛成多数（賛成8／反対1（松本明平議員））】

令和6年度特別会計歳入歳出決算

国民健康保険特別会計

- 歳入総額 12億5,293万9,821円
- 歳出総額 11億2,407万7,155円
- 歳入歳出差引額 1億2,886万2,666円

◆認定【賛成全員】

住宅用地造成事業特別会計

- 歳入総額 2,094万2,795円
- 歳出総額 2,094万2,795円
- 歳入歳出差引額 0円

◆認定【賛成全員】

介護保険特別会計

- 歳入総額 9億6,923万9,667円
- 歳出総額 8億4,937万3,889円
- 歳入歳出差引額 1億1,986万5,778円

◆認定【賛成全員】

後期高齢者医療特別会計

- 歳入総額 7,493万2,574円
- 歳出総額 7,376万4,901円
- 歳入歳出差引額 116万7,673円

◆認定【賛成全員】

令和7年度下水道事業会計(第1号)

3条

●収益的収入 5億7,259万2千円
(15万3千円の増)

●収益的支出 5億3,133万8千円
(15万3千円の増)

4条

●資本的収入 6,299万9千円
(3,772万4千円の増)

●資本的支出 1億9,779万4千円
(1,988万8千円の増)

◆可決【賛成全員】

令和6年度下水道事業会計決算

収益的収支

●収入総額 6億4,017万7,670円

●支出総額 5億5,936万 103円

●純利益 8,081万7,567円

◆認定【賛成全員】

土地の取得

新産業エリア整備事業用地

●所在 波倉字細谷134番214

●面積 24.12平米(地目:山林)

●取得価格 19,299円

◆承認【賛成多数(賛成8／
反対1(草野公雄議員)】

議員発議

阪神・淡路大震災からの復興と甘諸
の6次産業化への取組みについて

●派遣場所 兵庫県・大阪府

●派遣期間 令和7年10月8日～10日

●派遣場所 郡山市

●派遣期間 令和7年10月20日

◆可決【賛成多数(賛成8／

反対1(松本明平議員)】

報告

継続費の継続年度終了による清算

多機能拠点整備事業

●全体計画 20億1,100万円

令和6年度一般社団法人

ならはみらいの経営状況報告

●収入合計 5億8,997万6,316円

●支出合計 5億8,997万6,316円

●差引額 0円

同意

教育委員会委員の任命

●氏名 横田一夫

◆同意【賛成全員】

条例の制定・改正

下水道事業経営審議会条例の制定

下水道事業の効率的な経営を図ることを目的として、審議会を設置するための条例の制定

◆可決【賛成全員】

職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律等の施行に伴い所要の改定を行うための条例の改正

◆可決【賛成全員】

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正をするための条例の改正

◆可決【賛成全員】

税特別措置条例の改正

県特別措置条例の一部を改正する条例の交付に伴い、所要の改正をするための条例の改正

◆可決【賛成全員】

特定復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の改正

福島県特定復興産業集積区域における県税の課税免除に関する条例の一部改正する条例の交付に伴い、所要の改正をするための条例の改正

◆可決【賛成全員】

双葉地方広域市町村圏組合規約の変更

双葉地方広域市町村圏組合の共同処理する事務に、災害弔慰金審査会の設置及び運営に関することを追加するため。

◆可決【賛成全員】



復興事業の検証と今後の財政の在り方について

川内村では、遠藤雄幸村長が復興事業の検証を行っている。その趣旨は、復興事業が効果が高かった事業と低かった事業に振り分け、村の発展をさらに促し、住民本位の行政運営をしていくことにあると思われる。そこで、榎葉町においても復興事業の検証が必要であると考え、以下質問する。

問 町の復興事業では、これまで幾らの予算が投じられてきたのか。

答（町長） 平成23年から令和6年度までに行った事業費の総額は1,120億円。事業費の経費区分としては、職員人

件費を含む義務的経費、これに30億円、普通建設事業費や災害復旧事業費を含む投資的経費、これに534億円、基金積立金などの経費が556億円。これらの財源としては、震災復興特別交付税を含む一般財源が284億円、国庫支出金が340億円、県支出金が179億円、基金繰入金が190億円、その他として127億円である。

問 復興事業で成功した事業は。

答（政策企画課長） 復興事業については、全部で193の項目事業に分けて進めてきた。成功した事例は、ほとんどおむね順調に進んだ。失敗した事例は特にございません。

問 復興事業でうまくいかなかった事業は。

答（政策企画課長） 新産業の創造、誘致の部分で、関連技術活用による企業やベンチャー企業などの支援などは遅れた。あとは、再生可能エネルギー導入促進が一部遅れた。計画通りに進まなかったこととして、竜田駅東側のホテル誘致、これはまだ実現できていない。

問 政経東北の雑誌の遠藤雄幸村長のお言葉に、「村の一般会計当初予算は35億円前後だったが、原発事故後は一気に倍以上になり、今年度は59億8千万円でした。ただ、徐々にかつての予算規模に戻りつつある。そもそも復興予算の原資は税金であり、費用対効果や福島県以外に住む国民の目線も考えながら復興を進めていく必要がある。だからこそ、身の丈に合った事業規模に戻していくことが必要だし、効果的だった事業とあまり効果が得られなかった事業を分析して明確にしておくべきだと考えました。次のステップに進むための準備として、本当に継続したい事業に関しては裏付け・バックデータを取っていきます」とある。榎葉町では、全体的な復興事業の検証作業をどのように行っているのか。

答（政策企画課長） 復興計画だけでなく、今まさに町勢振興計画についても、当初予算編成前には必ず毎年主要施策に基づく事業の効果を、進捗状況、取組の内容を確認するためのヒアリングを実施し、その結果を踏まえて当初予算編成に反映させていく。

移住・定住のための住宅不足解消策について

若い世代の方で、榎葉町に住みたいが、住居が見つからず、近隣の市町村で生活をスタートした方々がいる。そこで、住宅市場の現状を町ではどのように把握しているのか、それを踏まえて移住、定住を促すための住宅の確保についてどのような対策をとっているのか、お尋ねする。

問 移住者、定住者向けの住宅は不足しているのか。原因をどのように考えているのか。

答（町長） 移住相談があった方のうち、希望する住宅がなく、榎葉町への移住を断念した方の数は、令和4年度から令和6年度までの3年間で約50件。復興庁が事務局となり、国・県避難地域12市町村を構成員とした移住、定住の促進と住宅確保に向けた連絡会議が設置された。これらの機会を活用し、広域的な課題としても対応していく。

いっぱん質問

町政を問う！

松本 明平 議員



町議会議員選挙で掲げた政策 の目標

8月3日投票となった町議会議員選挙には定数を超える候補者により選挙が行われた。それぞれの候補者は、今後4年間で実現したい項目を討議資料として作成し、あるいは立会演説などで有権者に支持を訴えた。当選し議員となった我々は、今後4年間を責任ある立場でまちづくりに関わる意識を持ち続け、町民の負託に応える活動をしなければならない。そこで、改選後初めて開催される今定例会で、選挙活動中に訴えてきたことを町執行部と協議し、実現の可能性を探っていききたい。

問 震災以降、1町だけでは解決できない課題も多く、従来の町村の枠組みで業務を行うだけではなく、整備する施設規模など持続可能なまちづくりを探っていくべき時期になっていると考える。双葉郡8か町村の連携の現状はどのようになっているのか。

答（町長） 双葉郡全体の将来像を共有する指針として、令和元年にふたばグラウンドデザインを策定した。震災前以上の繁栄を目標として2050年を見据えた長期ビジョンを示している。現在は、広域消防や、ごみ処理などを協働して行うことに加え、各町村まちづくり会社が連携し地域活性化の活動に取り組むことや、ふたばワールドの開催など、双葉郡の魅力や元気を発信している。

問 震災前、双葉郡の人口は7万人。現在の居住人口は1万6千人程度。今の枠組みによる自治体運営は難しくなっていると思うが、その認識は。

答（総務課長） 当町では一定程度の財政状況を維持している。長期的に財政運営ができるようにコストの縮減を図っていく。

問 今年6月に、産業、教育、医療、環境、子育てについて町からアンケートがあった。それに「町村連携の在り方」を追加し、町民の意見を聞き、施策の参考とすべきではないか。

答（政策企画課長） 現時点で合併などを議論する項目を追加する考えはない。

問 合併の議論を考える時期はいつくるのか。

答（町長） 各首長は町の存続をかけて様々な面で戦っている中で、合併の話は出せないと考える。今の時点では、消防や保健衛生の部分などでの連携かと思っている。

観光資源、檜葉ブランドの創出を探る

高校総体のサッカー大会やポニーベースポール大会などの規模の大きい大会や合宿などで当町を訪れる人口も増加傾向にある。地域活性化の鍵を握るのは、地場産業の発展と交流人口拡大にあり、そのためには観光資源や檜葉ブランドの創出を探り、これが確立できれば町の魅力を引き出すことに繋がると思われる。

問 これまでの取組と今後の展望について認識は。

答（町長） これまで、特産品はマミースイートンや、日本酒、干し芋、ユズボン酢などを開発してきた。今後観光資源は、天神岬を核として、ブランド化の創出に取組み、特産品は、マミースイートンを町を代表する食文化としてブランド化を目指していく。甘藷やユズ商品も品質向上をし、販路拡大に努める。

問 天神岬公園の再整備の検討状況はどうなっているか。

答（産業創生課長） あやめ池北側は、コテージやキャンプサイトの整備を提案されている。規模なども含め町全体で協議をしていく。

問 今年度から波倉地区で取り組んでいる芋焼酎と檜葉の風をセットで提供できる体制ができればブランド力が向上していく。また、環境省が仮置場としていた農地も畑地として返地してもらえば、町の甘藷の一大産地も目指せる。そのような考えはあるのか。

答（農林水産課長） 面的な畑地を整備すれば生産性もあがる。そのようなこともアプローチしていきたい。



波倉地区「新産業団地・再エネパーク」計画の現状と今後の動向について

町で計画している「新産業団地・再エネパーク」は、東日本大震災で大きな被害を受けた波倉地区を「復興のシンボル」と位置付け、これまでの発想を超えた新しい産業団地を整備することにより、新たな雇用創出、交流人口・関係人口の増大、脱炭素社会構築に向けた未来型の産業団地を目指している。

問 本計画の経緯と現状は。

答（町長） 平成27年に波倉地区の復興まちづくりのため官民が連携し、檜葉町波倉地区復興計画を策定した。当計画に

において特定廃棄物関連施設や仮置場などの運用が終了した後、産業用地として活用されることが計画されている。現在は造成工事の実施計画を行っており、今年度中の造成工事着工を目指している。

問 造成後の計画は決まっているのか。

答（政策企画課長） 造成工事完了の見通しが出た段階で、産業団地へ進出を希望する企業募集に入る計画である。

問 計画実現に向け、町と地域住民の関わりはどうなるのか。

答（町長） 昨年度、地区住民とともに3回のワークショップを行い、波倉地区の生業や賑わいの創出を目的とした将来構想を策定した。新産業団地が整備されることにより、地域住民との関わりが持てるような仕組みづくりをともに考えていくように町として努めていきたい。

災害公営住宅の現状と課題について

町は東日本大震災により被災した住民の暮らしの再構築を支援し、住民の帰還促進を目的に国の助成による住宅の整備

を進めてきた。避難指示解除から10年が経過し、入居状況も変化している。

問 現在の災害公営住宅の入居条件は。

答（町長） 東日本大震災及び原子力事故の際、町内に居住し住居を滅失等された方が入居対象である。一部、子育て世帯向け定住促進住宅やお試し住宅として活用しており、移住・定住者も限定的に入居可能となっている。

問 今後の課題は。

答（町長） 災害公営住宅に入居された方々も高齢化が進み、徐々に空室が増えている。今後は所得が低額で住宅に困窮した方々を対象とした一般町営住宅に用途を見直すことが想定される。国土交通省の考え方に基つき、必要な公営住宅戸数を精査し、住宅の目的外使用も視野に入れながら検討をしていく。

人々の暮らしを支える地域医療・地域福祉の構築と発展について

町は、東日本大震災の全町避難により、

避難指示解除から10年を経過した。いったん崩壊した地域医療や地域福祉の構築と発展は、人々の暮らしを守るため、町を越えた広域課題として捉えている。

問 避難指示解除後の地域医療や福祉をどのように捉えているか。

答（町長） 医療提供体制の確保や、介護・福祉サービスの拡充が必要不可欠である。医療、福祉、生活支援、保健が連動した環境づくりを進め、住民が「戻ってよかった」、「住み続けたい」と実感できる地域社会の実現を目指していきたい。

問 福島県が令和7年3月に示した、「双葉地域における中核的病院整備基本計画」において、ふたば医療センター附属病院及びふたば復興診療所は、中核的病院の開院に併せ、統合及び廃止について検討を進めると明記されている。統廃合だけではなく、今後の双葉郡の状況に合わせた段階的な医療体制の在り方を検討するべきだと考えるが、町の考えは。

答（町長） 極めて重要な問題である。統合、廃止を前に進めることだけでよいのか、福島県に強く要望をしている。

いっぱん質問

町政を問う！

佐藤 努 議員

令和7年12月定例会は、
令和7年12月10日(水) から開会予定です。

※開会日は変更となる場合があります。

●場所 檜葉町役場3階 議場

席には限りがあります。予めご了承ください。



◆傍聴の際守っていただくこと◆

- ①携帯の電源を切るか、マナーモードに設定をしてください。また、通話や撮影、録音は行わないでください。
- ②傍聴席では静粛を旨とし、次の事項をお守りください。
 - ・議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
 - ・談論し、報歌し、高笑し、その他騒ぎ立てないこと。
 - ・飲食又は喫煙をしないこと。
 - ・みだりに席を離れないこと。
 - ・不体裁な行為又は他人の迷惑となる行為をしないこと。
 - ・その他議場の秩序を乱し、または議場の妨害となるような行為をしないこと。

議会の足跡

令和7年9月～令和7年12月

日付	9月
16-18	第6回9月檜葉町議会定例会(議場)
21	木戸八幡神社例大祭(木戸八幡神社)
27	あおぞらこども園運動会(あおぞらこども園)
30	敬老会(コミュニティセンター)
日付	10月
3	会津美里町交流会(会津美里町)
4	会津美里町合併20周年記念式典(会津美里町)
5	消防団秋季検閲式(総合グラウンド)
8-10	総務環境常任委員会・経済福祉常任委員会合同所管事務調査視察研修(阪神・淡路大震災からの復興と甘藷の6次産業化への取り組み)(大阪府・兵庫県)
11	檜葉小学校学習発表会(檜葉小学校)
17	戦没者追悼式・慰霊祭(保健福祉会館)
20	町村議会議員研修会(郡山市)
24	ゆずり葉祭(檜葉中学校)
25	天神岬アウトドアフェスティバル(天神岬スポーツ公園)
28	総務環境常任委員会・経済福祉常任委員会合同所管事務調査(町の防災対策)(大会議室・町内)
29	鈴木農林水産大臣甘藷施設視察来庁 鹿児島県大崎町議会行政視察来庁(大会議室)
30	大分県杵築市議会行政視察来庁(大会議室)

日付	11月
4	ソーラーパネルリサイクルセンター落成式(波倉地内)
5	議会運営委員会(委員会室)
6	市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会檜葉町選手団結団式(スカイアリーナ)
7	第7回11月檜葉町議会臨時会(議場)
10	経済福祉常任委員会・総務環境常任委員会合同所管事務調査(空き家・空き地対策の現状)(大会議室・町内)
12	町村議会議長全国大会(東京都)
13	双葉地方町村議会議長会視察研修会(東京都)
15	ならは農福フェス2025(ならはCANvas)
15-16	市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会応援(白河市～福島市)
19	双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会(富岡町)
20-21	福島県原子力発電所所在町協議会視察研修(茨城県)
28	双葉地方広域市町村圏組合議会定例会(富岡町)
29	こども園生活発表会(こども園)
日付	12月
4	議会運営委員会(委員会室)
6	ふるさと福島檜葉会交流会(東京都)
8	議会合同委員会(議場)

配信
やってます!

檜葉町議会では、年に4回行われる定例会をWEB配信しています。ご自身のスマートフォンなどでご覧いただけますので、右のQRコードか下のURLにアクセスしてご覧ください。
https://live.kuroko.cloud/external/index/index/live_id/naraha-gikai/

